

RADIUS 認証サーバ FX-SVR-RDS



※製品の価格・仕様・色・デザインは、予告なしに変更することがあります。

特長

- ・ 証明書の発行から認証まですべてをカバーするプライベート CA と RADIUS サーバ機能を搭載した小型軽量の IEEE802.1X 認証サーバ
- ・ EAP-TLS のサポートにより電子証明書による認証、最大 1000 枚までの電子証明書の発行/管理が可能
- ・ PEAP のサポートによりユーザアカウント/パスワードによる認証が可能
- ・ 最大 300 台のオーセンティケータを管理が可能
- ・ MAC アドレス認証サーバ機能を搭載、最大 8,192 台の管理が可能
- ・ DHCP サーバ、NTP サーバ、SNMP エージェントなどの各種サーバ機能を搭載
- ・ ログやステータス機能を備えているため、認証や動作状況などが Web ブラウザで簡単に確認可能
- ・ 万一の故障の際に CF カードを代替機へ差し替えるだけで簡単に復旧可能
- ・ 添付の取り付け用アタッチメントを使用することにより、壁掛けや壁面/机への固定など、用途に合った設置が可能
- ・ オプションの DIN レール取り付け用アタッチメント[FXDIN-ADP]を使用することにより 35mmDIN レールに取り付け可能

※ iOS12、macOS Mojave 以降の機器では、RSA 鍵長 2048bit 以上の証明書が必要とします。本製品で発行できる証明書は RSA 鍵長 1024bit のため、本製品で iOS12、macOS Mojave 以降の機器と IEEE802.1X 認証を行うことはできません。

オプション（別売）

35mm DIN レール取り付け用アタッチメント： FXDIN-ADP

※ オプションの詳細は、当社ホームページでご確認ください。

商品構成

- | | |
|--|---|
| ☐ 本体…1 | ☐ 取り付け用アタッチメント…1 |
| ☐ AC アダプタ…1 | ☐ ゴムキャップ…2 |
| ☐ AC ケーブル…1 | ☐ フェラライトコア(大)…1 |
| ☐ フェラライトコア(小)…1 | ☐ ケーブルタイ…1 |
| ☐ セットアップガイド…1 | ☐ タッピングネジ(M3×12)…2 |
| ☐ 登録カード&保証書…1 | ☐ 3点セムスネジ(M3×6)…5 |
| ☐ シリアルナンバーラベル…1 | ☐ ゴム足…4 |

本製品は、IEEE802.1X 認証を行うための認証サーバです。

小型軽量でありながら、認証に必要なプライベート CA(認証局)と RADIUS(Remote Authentication Dial In User Service)サーバの機能を搭載しています。IEEE802.1X で標準的な認証方式である EAP-TLS、PEAP をサポートしており、本製品だけで IEEE802.1X 認証に必要な証明書の発行から認証まですべての機能が実現できます。

DHCP サーバや NTP、SNMP などにも対応しており、他の機器との連携により管理が行えます。これら証明書の発行や管理は、Web ブラウザから簡単に行えます。

また、稼動していた本製品が故障した際に、代替機へ CF カードを差し替えるだけで簡単に復旧ができます。

※本内容については予告なく変更することがあります。

※最新の内容については、当社ホームページにある解説書をご覧ください。

※データシートの情報は 2019 年 12 月現在のものです。

仕様

物理仕様

項目	仕様
LAN 部	イーサネット規格
	IEEE802.3 準拠(10BASE-T) IEEE802.3u 準拠(100BASE-TX)
	データ転送速度
	10/100Mbps
	アクセス方式
通信方式	CSMA/CD
	半二重(Half Duplex)、全二重(Full Duplex)
	ポート数
RTC	1(10BASE-T/100BASE-TX)
	リチウム電池/バックアップ 電池寿命: 10 年以上 リアルタイムクロックの精度: 月差 1 分以内
外形寸法(mm)	97(W)×68(D)×25(H) (ただし、突起部は含まない)
質量	200g

ソフトウェア仕様

項目	仕様
実装プロトコル	IP(RFC791)、ICMP(RFC792)、UDP(RFC768)、TCP(RFC793, 896)、ARP(RFC826)
最大オーセンティケータ登録台数	300 台
最大証明書発行数	1000 枚
最大 MAC アドレス登録台数	8192 台
認証方式	EAP-TLS、PEAP、MAC アドレス
動作確認済み Web ブラウザ	Internet Explorer 5.5 以上、Firefox、Chrome
動作確認済みオーセンティケータ	FLEXLAN DS540 シリーズのアクセスポイント FLEXLAN FX1000 シリーズのアクセスポイント FLEXLAN FX2000 シリーズのアクセスポイント FLEXLAN FX3000 シリーズのアクセスポイント FLEXLAN FX4000 シリーズのアクセスポイント FLEXLAN ZC シリーズのアクセスポイント
動作確認済みサブライアント *1	FLEXLAN DS540 シリーズのサブライアント対応製品、 FLEXLAN FX1000 シリーズのステーション FLEXLAN FX2000 シリーズのステーション FLEXLAN FX3000 シリーズのステーション FLEXLAN FX4000 シリーズのステーション Windows XP、Windows XP SP1、Windows XP SP2、 Windows 2000 SP4、Windows 2000 SP3 (別途 Patch が必要)、 Windows Vista、Windows 7

*1 iOS12、macOS Mojave 以降の OS では、本製品で IEEE802.1X 認証を行うことはできません。

本体設置環境条件(環境仕様)

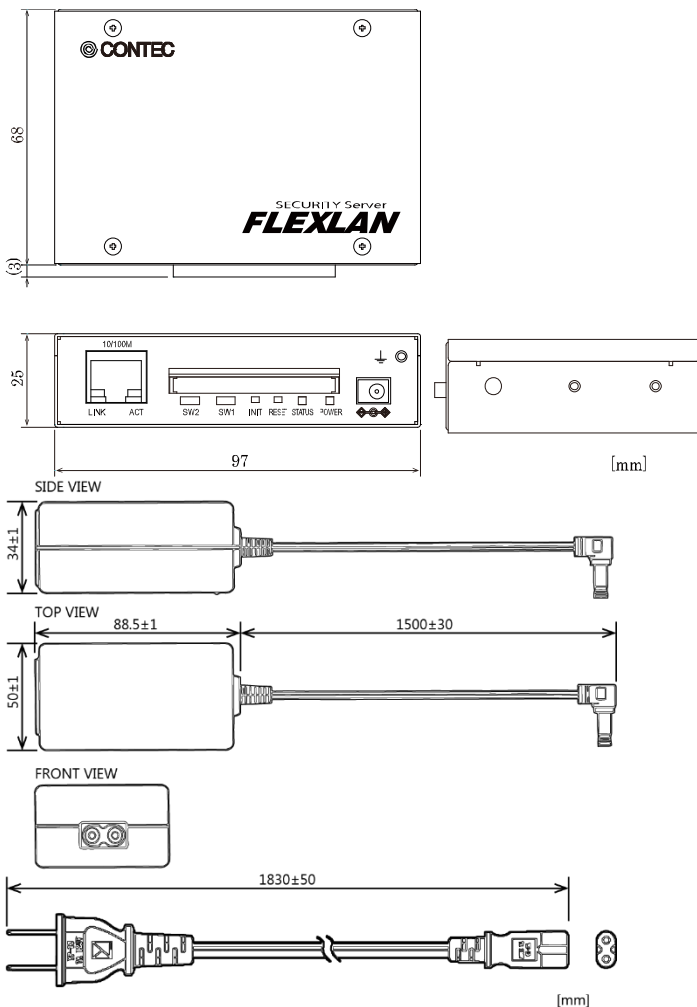
項目	仕様
入力電圧範囲	5VDC±6%
定格入力電流	0.5A(Max.)
動作周囲温度	0 - 50℃
動作周囲湿度	10 - 90%RH(ただし、結露しないこと)
浮遊分塵	特にひどくないこと
腐食性ガス	ないこと
許容瞬時停電時間	17ms以内(100VAC@25℃) 低電圧検出時、自動的にリセットを行う
規格	VCCI Class A, RoHS 指令

ACアダプタ環境条件(環境仕様)

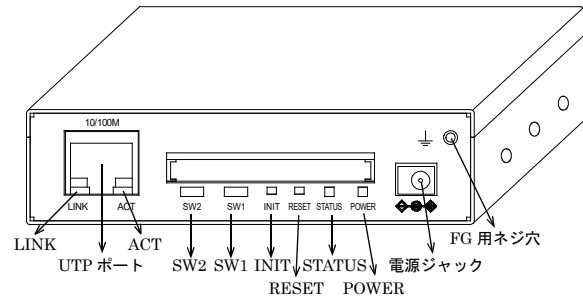
項目	仕様
入力電圧範囲*1	100 - 240VAC 50Hz/60Hz
定格入力電流	AC480mA (Max.)
周波数	50 - 60Hz
定格出力電圧	5VDC±6% (0A - 3.0A 時)
定格出力電流	3A (Max.)
出力保荷時間	19ms (負荷 2.0A)、10ms(負荷 3.0A)
外形寸法(mm)	50(W)×88.5(D)×34(H) (ただし、ケーブルや突起物は含まない)
動作周囲温度	0 - 40℃
動作周囲湿度	20 - 80%RH(ただし、結露しないこと)
浮遊分塵	特にひどくないこと
腐食性ガス	ないこと
規格	UL, CUL, PSE, BSMI, RCM, GS, CE, FCC Class B

*1 添付 AC ケーブルは 125VAC 用です。日本国内での利用時は、100-125V となります。

外形図



各部の名称と働き



■LED インジケータ

4 個の LED によって、電源の状態、LAN の接続状態などを表示します。

LED 表示内容

LED の名称	色	状態	表示内容
POWER	緑	点灯	動作中であることを示します。
		点滅	起動中(電源スイッチを投入してから動作中になるまで)であることを示します。
STATUS	緑	点灯	正常動作中であることを示します。
		消灯	異常が発生したことを示します。
ACT	橙	点滅	LAN のデータを送受信していることを示します。
LINK	緑	点灯	リンク状態であることを示します。
		消灯	リンクが切れていることを示します。

ファイル書き込み中

LED の名称	状態	表示内容
POWER	同時点滅	ファイル書き込み中
STATUS		

■ボタン類

ボタン名称	本体記載名称	動作/機能
リセット	RESET	ボタンを押すと、本体を強制的にリセットします。
初期化	INIT	本体の設定を出荷時の状態に戻します。ボタンを 3 秒以上長押しすると、POWER と STATUS の LED が点滅を始めます。点滅している LED が点灯にかわるまでの間(約 3 秒)にこのボタンを離すと、本体の設定が、次の起動後に出荷時設定に戻ります。*1

*1 INIT ボタンを ON、OFF して初期化するとき、OFF した後もしばらく点滅が続きます。これは設定ファイルの書き換え中であることを示します。点滅が終わるまでに電源を切るなどすると、設定ファイルが破損し、本製品が正常に起動できなくなる場合があります。必ず、点滅終了後に再起動してください。

■スイッチ類

スイッチ名称	本体記載名称	状態	動作/機能
スイッチ 1	SW1	左	システム起動モード(出荷時設定)
		右	予約
スイッチ 2	SW2	左	予約(出荷時設定)
		右	予約

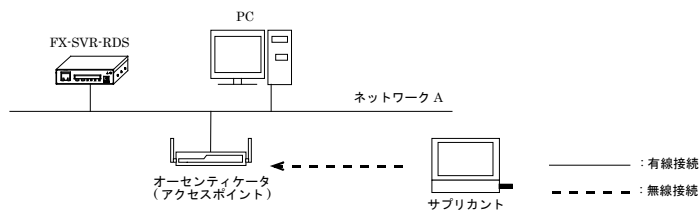
■コネクタ類

コネクタ名称	本体記載名称	動作/機能
UTP ポート	10/100M	10BASE-T または、100BASE-TX に接続する際に使用します。
電源ジャック	5VDC	5VDC の電源入力用のジャックです。添付の AC アダプタを接続します。

▼注意

- ・ 本体への電源供給は、添付の AC アダプタを使用してください。その他の電源を使用した場合、故障または破損の原因になることがあります。
- ・ SW1 の設定は、必ず「■スイッチ類」の表に記載された出荷時設定にあわせてご使用ください。誤った設定でご使用になると、システムが正常に起動しません。
- ・ 製品が正常に起動しなくなった場合は、解説書の「第 6 章 故障かな? と思ったときは」や LED 表示などを確認し、お買い求めの販売店、またはテクニカルサポートセンターへお問い合わせください。

ネットワークの構成



■FX-SVR-RDS

本製品です。CA(認証局)と RADIUS サーバの機能を備えた IEEE802.1X 対応の認証サーバです。

■オーセンティケータ

無線 LAN では IEEE802.1X に対応したアクセスポイントのことを指します。本製品は、最大で 300 台までのオーセンティケータを管理でき、無線 LAN 端末のローミングが可能です。

設定方法は、ご使用になるオーセンティケータに添付された解説書を参照してください。

■サブクライアント

IEEE802.1X 認証要求を発行することができる端末です。この端末には、IEEE802.1X に準拠したサブクライアント機能を備えた機器 (FX-DS540-STD L2, FX-DS540-APDL (af) など)、または OS (Windows XP、Windows XP SP1、Windows XP SP2、Windows 2000 SP3 + IEEE802.1X、Windows 2000 SP4 対応モジュール) が必要です。

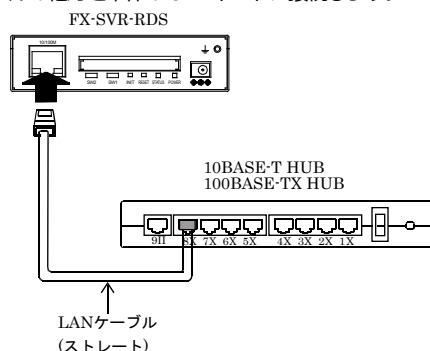
本製品は、最大で 1000 枚までのユーザー証明書が発行/管理が可能です。設定方法は、ご使用になるサブクライアントに添付された解説書を参照してください。

LAN ケーブルの接続

本製品の UTP コネクタに、ご使用になる LAN ケーブルを接続してください。本製品には、10BASE-T/100BASE-TX のコネクタを 1 つ装備しております。

■10BASE-T/100BASE-TX との接続

- (1) 他の HUB やブリッジの UTP ポートに LAN ケーブル(ストレート)を接続します。
- (2) LAN ケーブルの他方を本体の UTP ポートに接続します。



▼注意

- ・ 本製品とパソコンまたは HUB 間の LAN ケーブル長は 100m 以下です。
- ・ カテゴリ 3 以上の仕様に対応した LAN ケーブルを使用してください。
- ・ パソコン(NIC)または HUB の UP-LINK ポートと接続する際には LAN ケーブル(クロス)をご使用ください。
- ・ 添付のフェライトコア(大)は本製品の UTP コネクタから 2cm 程度の位置に取り付けてください。

従来の認証サーバ (SVR-RDS (FIT) , SVR-RDS (FIT) L) との相違点

本製品は、従来の認証サーバである SVR-RDS(FIT), SVR-RDS(FIT)L に対して機能的に後継機種となります。ただし、SVR-RDS(FIT), SVR-RDS(FIT)L とは仕様において相違点があります。

以下に機能面を中心とした相違点について示します。

従来製品 : SVR-RDS(FIT), SVR-RDS(FIT)L

本製品 : FX-SVR-RDS

	FX-SVR-RDS	SVR-RDS(FIT), SVR-RDS(FIT)L
証明書の発行/管理枚数	1000	200
オーセンティケータの管理台数	300	10
認証方式	EAP-TLS, PEAP(MS-CHAPv2), MACアドレス	EAP-TLS, PEAP(MS-CHAPv2), PEAP(TLS)
MACアドレス認証サーバ機能	○	×
DHCPサーバ機能	○	×
NTPサーバ機能	○	×
SNMP エージェント機能	○	×
ログ機能	○	×
設定データのバックアップ機能 (※1)	○	○